

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援 あそびすたあ久留米		
○保護者評価実施期間	令和8年 1月 9日		～ 令和8年 1月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	12名	(回答者数) 10名
○従業者評価実施期間	令和8年 1月 9日		～ 令和8年 1月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数) 6名
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 3月 10日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもが安心して通える支援環境。	保護者評価において「子どもが安心して通所している」「通所を楽しみにしている」といった項目で高い評価をいただいている。日々の関わりの中で、子どもの特性や気持ちを理解しながら安心して過ごせる環境づくりを意識して支援を行っている。	今後も子ども一人ひとりの特性に応じた関りを大切にしながら、安心して過ごせる環境作を継続していく。
2	個別支援計画に基づいた支援の実施と職員間の情報共有。	児童発達支援計画の作成や支援内容について職員間で共有し、日々の支援前後の打ち合わせや記録を通して情報共有を行っている。保護者からの聞き取りや日々の観察を踏まえながらアセスメントを行い、個別支援計画に反映している。今後も職員間での振り返りや情報共有を継続し、支援の質の向上を図っていく。	今後も職員間での振り返りや情報共有を継続し、支援の質の向上を図っていく。
3	安全管理や事故防止体制の整備	事故防止マニュアルや緊急時対応マニュアル等を整備し、定期的に避難訓練等を実施している。また、子どもの安全確保のために日々の環境整備や見守り体制の強化に努めている。今後も安全計画に基づき訓練や確認を行い、安全管理体制の維持・強化を図っていく。	今後も安全計画に基づき訓練や確認を行い、安全管理体制の維持・強化を図っていく。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者同士の交流機会の不足	保護者会や交流の機会については現在特段設けていないため、「どちらともいえない」「わからない」といった回答が見られたと考えられる。保護者の就労状況や送迎時間の違い等もあり、交流の機会を設けることが難しい状況がある。	保護者のニーズを確認しながら、必要に応じて情報交換の機会や保護者向けの情報提供の場について検討していく。
2	地域との交流機会の少なさ	地域の子どもの交流機会については実施機会が少なく、評価が分かれる結果となった。利用児童の多くが保育所や幼稚園等を併用しており、事業所として独自の交流機会を設ける機会が少ないことが要因と考えられる。	今後も必要に応じて地域資源の情報収集を行い、子どもの状況に応じて地域との関わりを検討していく。
3	情報発信の機会の充実	SNS等で活動の様子を発信しているが、不定期であるため保護者によっては情報発信が少ないと感じる場合があると考えられる。日々の支援や記録業務を優先する中で、情報発信の頻度にばらつきがある。	保護者に安心して利用していただけるよう、活動の様子や取り組みについて適切な範囲で情報発信の機会を増やしていく。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 児童発達支援 あそびすたあ久留米

公表日 令和8年 3月 10日

利用児童数 12名 回収数 10名

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	8	1		1		国の設置基準である一人当たりの基準をクリアしましたスペースを確保しております。気になる際には事業所の見学はいつでもお受けしておりますので、お知らせください。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	9			1		基本的にマンツーマンないし2人のお子様を1人の職員で対応するようにしております。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	7	2		1		利用の際には階段の昇降が必要となり、バリアフリーとは言えません。昇降の際には職員も手をつなぐなど安全面に配慮を行っております。保護者様の方でも送迎の際には、お子様の安全確保のためにしっかり手をつなぐなどの対応をご協力よろしくお願いたします。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	9			1		毎日療育開始前に各所の清掃を実施しております。
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	8	1		1		日々職員間で情報の共有を行っておりますが、気になることなどございましたらいつでもお話しください。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	10					
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	9	1				日々の支援記録及び職員間の申し送りにより児童の状況把握を行うとともに、保護者様からの聞き取りや市の共通のニーズ整理表等を活用し、ニーズの整理を行っております。今後も職員間で情報の共有を行いながら、アセスメントに基づいた児童発達支援計画の作成および定期的な見直しを継続していきます。
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	7	1		2		個別支援計画をお渡しの際にご説明させていただいておりますので、その際にご確認ください。
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	8	1		1		個別支援計画に基づいて支援を行っております。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	8			2		活動が固定化されないよう提供しております。送迎の際や不定期ではありますがSNSなどでその日行った活動の様子などをお伝えしております。
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	4	2	2	2		園や保育所に通われているお子様もいますので、特段機会を設けてはおりませんが、ご要望がある場合にはお知らせいただきますようよろしくお願い申し上げます。
	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	10					
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	10					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	9		1			事業所としてペアレント・トレーニング等は設けておりませんが、郡山市から提供される保護者向けの講演会や交流会などのお知らせを、随時連絡アプリ等でお知らせしております。また、送迎時や個別対応などで相談等の対応を行っております。

保護者への説明等	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状態について共通理解ができていると思いますか。	6	3	1		送迎時等に保護者様に対してその日のお子さまの様子等をお伝えしておりますが、それ以外でも相談事など話したいことがありましたらいつでもお話しできますようよろしくお願い申し上げます。	
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	7	2	1		心配事などありましたら送迎時以外でもご相談ください。	
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	7			3		気になることなどありましたら遠慮なくお申し付けください。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	3	1	4	2		保護者会設置や保護者様同士の関わりの場が必要な場合にはご相談ください。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	7	1		2		お申し入れがあった場合には迅速に対応させていただきます。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	8	1		1		お子様の状況によっては、きちんと伝えられないことがあったかもしれません。大変失礼いたしました。お迎えの際に先にお子様の様子や活動内容をお伝えしてからお子様を引き渡すように対応させていただきます。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	6	2		2		不定期ではありますがSNSにて活動の様子を掲載しております。お時間のある時にご覧ください。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	9			1		個人情報の取り扱いには十分注意しております。基本的に同意を得た上で外部等に情報を提供しておりますが、そのほかで気になることなどがありましたらご相談いただきますようよろしくお願い申し上げます。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	8	1		1		事業所内にマニュアルがあり、いつでも閲覧可能となっておりますのでご希望の際にはお声がけください。また、年2回職員間で訓練を行っております。訓練の様子はSNSにて発信いたします。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	6	2		2		今年度は6月と12月に1回ずつ避難訓練を実施しました。今後も年に2回避難訓練を実施していきます。行った場合には送迎時にお伝えするとともにSNSにて発信致します。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	8	1		1		安全計画について策定しており、連絡アプリにて一斉周知をいたしました。また事業所内にもありいつでも閲覧可能となっておりますのでお声がけください。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	8	2				お子様が療育中に事故やけがなどが発生した際には、必ず保護者様にご連絡を行っております。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	9			1		保護者様と情報共有を行いながら、お子様にとって分かりやすい方法は何かを考えながら安心して通所できるように支援してまいります。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	9	1				お子様が楽しみに通所できますよう、職員一同活動内容や支援内容を工夫して行っております。
	29	事業所の支援に満足していますか。	9	1			体を動かすことが好きなので、外遊びや体を動かす機会を増やしてほしい。	毎日、来所後には短い時間ではありますが室内で体を動かす機会を設けております。また日々室内活動と外での活動を適宜組みあわせて支援を行っております。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	児童発達 あそびすたあ久留米		公表日 令和8年 3月 10日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6		階段昇降の際には、手をつなぐなど必ず付き添いや見守りをしています。 天候不良時には、階段のスリップ防止にゴムマットなどをひいています。	事業所が2階のため、けが等をした場合には通所にいく可能性があります。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6		完全な個室はないが、パーティション等で部屋を区切るなどの対応を行っています。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6		毎日療育終了後に職員間で話をしています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		年1回行っています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6		保護者様の評価と事業所内の評価を年1回実施しています。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6		随時内部・外部研修を行っています。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6		事業所ホームページにて公表しています。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	6			
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6		日々の支援の振り返りの際に子どもの様子や課題点などを職員間で話し合い計画書に反映しています。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6			
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6			

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	6			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6			
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6			
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6			
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6			
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6			
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6		必要時に連携を図っています。	今後就園を控えるお子様もいますので、その際には併用先と情報共有し連携を図れるようにしていきます。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6		学校からの要請に応じています。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	4	1	研修等にも参加し、助言等いただいています。	無回答：1
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	6		保育所や幼稚園と併用しているお子様がいます。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6			送迎対応の児童に関しては、保護者様との共有が難しいことがあります。
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	1	外部の保護者向け研修や交流の案内などを連絡アプリ等にてご案内しています。また、保護者様からの相談には都度対応しています。		
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6			支援プログラムについては説明をしていなかったため、今後契約時にお伝えしていきます。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6			
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6			

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	5	1		保護者会等は設けてはいませんが、今後要望がある場合には検討していきます。
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	6		不定期ではありますが、SNSにて活動の様子を発信しています。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6			
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	6		事業所が住宅街にあるため、日ごろから地域の方々と挨拶などの交流を行っています。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6		各種マニュアルについては策定しており事業所内に設置しています。また契約時には保護者様にもお伝えしています。年に2回訓練を実施しています。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6		BCPは策定しています。職員間で確認し、年2回訓練を実施しています。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6			
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。		6		現在対象となるお子様はいませんが、今後そのようなお子様がいた場合には対応いたします。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6		安全計画は策定しており訓練を実施しております。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6		安全計画は策定しており、全保護者様に連絡アプリにて周知しています。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6			
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4		随時内部・外部の研修を行っています。	無回答：2
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	4		内部・外部研修を行い、職員間で共通理解をし、個別支援計画書にも記載しています。	無回答：2	